

会議名	第1回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和3年11月16日(火)14時から15時40分まで
場所	厚木商工会議所3階 303号室
出席者	出席者 13人 厚木市観光振興推進委員会委員8人 オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長) 事務局4人(産業振興部長、観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主事)

会議の経過は次のとおり。

- 1 開会 観光振興課長
挨拶 産業振興部長
※委員自己紹介、事務局紹介
- 2 厚木市観光振興条例及び厚木市観光振興推進委員会並びに厚木市観光振興推進委員会会議等の公開に関するルールについて 説明：事務局
資料1～3に基づき説明。
厚木市観光推進条例第19条に規定する同条例の評価等について、3年を越えない期間ごとにこの条例の運営状況を評価する。となっている。今年度は前回から3年目を迎えており、見直しの時期となっている。本来なら6月に会議を開催し、条例の改正について審議する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議が開催できず、委員長が決定していなかった状況もあり、今後、条例の見直しについて本日の説明を受けて検討していただき、意見書を後日提出していただきたい。
【意見等】
特になし。
- 3 案件
 - (1) 委員長及び職務代理の選出について
委員長及び職務代理を選出。
 - (2) 令和2年度事業の実施状況について 議事進行：委員長 説明：事務局
資料4、4-2に基づき説明。
【意見等】
特になし。
 - (3) 令和3年度主な事業の実施状況について 議事進行：委員長 説明：事務局
資料5、5-2に基づき説明。
資料の訂正：資料5の3 健康づくり村推進事業 (2)事業経過及び実績
ア 健康づくり大学、イ 森林セラピーの補助金交付先を厚木市観光協会に訂正

【意見等】

委員長：鮎まつりデザインコンクールについて、ロゴマークやあゆコロちゃん衣装で応募のあったデザインは今後、どのように活用されるのか。

事務局：鮎まつりが2年連続で中止になったことで皆さんに忘れられないよう、次回につながる事業を実施した。絵画については次回のポスターやうちわなどのデザインに使用する。ロゴマークについては、スタッフTシャツなどに使用予定。あゆコロちゃん衣装については実際に作成し、次回の鮎まつりで着用する予定。花火玉デザインについては次回の使用予定はないが、花火に触れ合ってもらえるように実施した。入賞作品についてはホームページでも公開しているので、是非見ていただきたい。

(4) 令和4年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局

資料6に基づき説明。

【意見等】

委員：テレビ番組「アド街ック天国」で七沢を特集していた。その中で森林セラピーを紹介していたが、市の事業と同じものか。

事務局：この番組の制作にあたり、番組で紹介されたものは森林公園が独自に実施しているセラピーで、市が観光協会に補助金を交付し実施しているセラピーとは別である。

オブザーバー：最初に相談に来た番組スタッフに、出来れば七沢と飯山を併せて制作してほしいと伝えたが、今回は七沢特集となった。番組の影響で七沢にかなり人が来ており、問い合わせもかなり増えている。

委員：放送の翌日に市内5ヵ所で入込客調査を実施したが、広沢寺付近はいつもに比べ大変観光客が多かったようだ。

委員：鐘ヶ嶽の山頂で鹿冊が破損しており、見栄えも悪く大変危険である。市とは関係ない場所か。

事務局：県の土地になっているので、県に修繕要望を出せるが、市が実施している毎月の点検で破損箇所として報告は届いていないので、この後確認させていただく。その他の箇所でも気づいた点があったら随時報告してほしい。

(5) 観光振興に係る意見交換について 議事進行：委員長

【意見等】

委員：先ほど話題に出ていたアド街ック天国が放送された後の週末に、七沢行きの路線バスにお客様を乗せ切れず、急きょ臨時便を1便出したが、それでも乗れない方がいた。テレビなどで放送すると来客が増える。放送予定など情報があれば先に教えていただけると対応できる。

事務局：これまで、イベントの情報は提供していたが、テレビ番組などは連絡していなかった。市内では頻繁に撮影が行われているので、次から連絡をしていきたい。

委員：11月からアルコールが解禁されてから飲みに行く方が増えている。金・土・日曜日に飲みに行かれて宿泊される方が増えてきた。「あつぎ一番街」のお店も閉まっていた閑散としていたが、お店が開いたことで人通りも増えた。ただ、花火などのイベントがないのは寂しい。

事務局：花火大会があると宿泊客は増えるか。

委員：すごく増える。2ヵ月以上前から予約が入る。イベントは集客力が高い。

委員：12月4日にモミジライトアップイベントを開催するので、時間があれば足を運んでほしい。鮎まつりや桜まつりが中止になり予算が余っているのであれば、今回は今まで以上に盛り上げてほしい。

事務局：コロナ禍において来場者を会場の50%までしか入れてはいけないなど、制限があると産業振興部のイベントは開催が難しい。コロナで中止になったイベントの予算については、復興支援などコロナ対策等に使われていく。

委員：スポーツ関係のセレクトショップを経営しているが、人が外に出てくれないと売れない、という意味ではかなり影響を受けた。支援金などでお客様が次に使えるサービスを実施したことが売り上げにつながった。

 前回の飲食店応援電子商品券を購入したが、スマホ等に慣れていない者には買うときも使うときも大変面倒で分かりにくかった。今後は様々なものを電子で購入することが増えていくし、シニア層もスマホを使いこなさなければいけない時代になると思うが、もう少し簡単にできると良い。

事務局：前は、買い方が面倒であることやカード会社のセキュリティ関係で時間がかかってしまうなど、ご指摘を受けた。今回はクレジットカードを持っていない方でも購入できるよう、コンビニでも買えるようにした。是非、購入いただきたい。

委員：あつぎ観光ボランティアガイド協会もコロナの影響で会議や活動が全くできていない。飯山白山の展望台に新しく設置した眺望盤は大変良く、来られた方に喜ばれると思う。七沢森林公園に行く、荒れていた道も直してもらい、とてもきれいになった。

オブザーバー：11月に緊急事態宣言が明けたが、登山客の状況はどうか。

委員：コロナ禍でも山には結構人が来ていた。

事務局：コロナ禍で屋内には行けないけど、外なら大丈夫だろう、という感覚の方が多く、七沢や飯山の他、大山にも渋滞するほど多くの方が来られていた。

委員：イベントや支援事業の周知が足りていないと感じている。イベントの周知方法に新聞広告とあったが、SNSから情報を得る人がかなり増えている。ターゲットにもよるが、若年層に知ってもらいたい情報なら、もっとインターネットを活用してはどうか。去年森林セラピーに参加したが、ほとんどが高齢者だった。コロナ禍で若い人や家族層も厚木市内など近場で遊ぶ場所を探しているが、どこを見れば掲載されているか知らない方が多い。イベントなどの情報を教えると反応が大きいので、みんなに自発的に情報を探してもらうのではなく、SNSでここに情報があるということを受け取れるように改善してはどうか。もっとインターネット(W e b)を活用してほしい。

事務局：情報発信には色々な媒体がある。以前は、ホームページに掲載していればW e b対応している、と言っていた。ホームページは人に探させるページなので、どこにあるのか、と聞かれてしまう。見に来てもらうのではなく、いつの間にか目につく、もしくは探しに行くところが分かりやすい、などが求められている。市としてもサイネージやSNS広告を配信している。観光のPRは見てもらっただけで終わらず、いかに来てもらい、いかにお金を使ってもらうかである。旅館とホテルの客層は若干違うと思うため、全員に広く見ってもらうことも重要だが、ターゲットに向けての発信方法も考えていく必要がある。

厚木市の来場者数を紹介すると、コロナ前は概ね300万人くらいであった。消費額は年間概ね170億円を維持していた。こちらはイベント収入が大きく、鮎まつりの経済効果は10億円と言っているが、実際にはもっと多い。鮎まつりを中止した去年は52億円まで落ちている。イベント中止の影響だけではないが、宿泊客や飲食が減っている。観光客数も5割以下の128万人という結果だった。コロナの影響がこれほど大きいのか、と痛感している。テレビで放送されたことでお客様が増えている、といういい話があるが、今後すぐに回復しないと思っている。情報発信も含め、皆さんのお知恵をお借りして観光復興に取り組んでいきたい。

委員：厚木市内のハイキングコースにはヒルが出るので、入山するのに躊躇してしまう。対策はないのか。

事務局：ヒル対策は大変難しい。できることからやっていきたい。

4 その他

事務連絡：事務局

先ほどお願いした条例の改正に対する意見について、本来なら次の会議で検討したいところだが、会議が1回中止になっている関係で、書面決議とさせていただきたい。改正について、意見等を記入し、返信用封筒で返送いただくようお願いする。

次の推進委員会は2月を予定しているが、条例の改正が必要という意見があった場合などは臨時会を開催することがあるので御承知いただきたい。

5 閉 会